

キリスト者の霊的形成論 ～持続可能なミニストリーと魂のケア～

講師: 飯田 結樹(札幌ガーデンチャーチ牧師 / ライフコーチ)

第3回: アイデンティティの革命

～ 努力して「神の子」になるのではない ～

■ 主題聖句

そして、あなたがたが子であるので、神は「アバ、父よ」と叫ぶ御子の御霊を、私たちの心に遣わされました。ですから、あなたはもはや奴隷ではなく、()です。子であれば、神による相続人です。(ガラテヤ人への手紙 4:6-7)

あなたがたは、人を再び恐怖に陥れる、()の霊を受けたのではなく、子とする御霊を受けたのです。この御霊によって、私たちは「アバ、父」と叫びます。(ローマ人への手紙 8:15)

しかし、あなたがたは選ばれた種族、()、聖なる国民、神のものとされた民です。(ペテロの手紙 第一 2:9)

1. 導入: ラベル剥がし

私たちはしばしば、役割(Role)と、魂・存在(Soul/Being)を混同してしまいます。

役割: 牧師、神学生、〇〇のリーダー、長男、会社員など。

問い: 「もし、明日これら全ての役割や肩書きが失われたとしたら、残った『あなた』は誰ですか？」

解説: 役割がなくなった時に「自分には価値がない」と恐れるのは、内なる「()」の姿である。

2. 講義パート1: 孤児の霊(奴隷の霊) vs 養子の霊

① 「孤児の霊・奴隷の霊」の特徴

人間の存在価値を「()」というモノサシだけで計る。常に他者と比較・競争し、自力で価値を証明しなければならないという恐れに基づいた状態。

まじめな働き人が陥りやすい「()の偶像化」の正体。

② 「養子の霊」への招待

養子縁組の真実: 養子は血の繋がりがなくても、法的に完全な()を持つ。一度結ばれた関

係は絶対に取り消されない。

私たちの価値は、何をするか(Doing)ではなく、誰の子であるか(Being)によって既に決定されている。

3. 講義パート2:【体験的証し】王のDNA ~ライオンの目覚め~

③ 啓示:生まれた時からライオンである

「ライオンは、必死に筋トレをしてライオンになるんじゃない。生まれた時からライオンなんだ」。

努力(Doing)は身分を獲得するためのものではなく、既に与えられた()を楽しむためのものである。

④ 実践:王の余裕

アイデンティティ(Being)が揺るがなくなると、目の前の()の嵐や、この世の富のシステム(ファラオのシステム)に飲み込まれなくなる。

「王は裸であっても王である」。

💡【ディスカッションと宣言】(20分)

ペアワーク:王としての宣言 ~思い起こさせる共同体~

Q. 互いの目を見て、次の真理を宣言し合ひましょう:

「〇〇さん。あなたは努力して神の子になるのではありません。あなたは生まれた時から、神の愛する子であり、王である祭司です。あなたの価値は、あなたの働きによって増えもせず、減りもしません。」

Q. その言葉を言われた時、内なる「マネージャー」や「追放者」はどう反応しましたか？

[メモ欄]

- ・
- ・
- ・

■ 今日のまとめ

アイデンティティの革命とは、努力して「良い羊」になろうとするのをやめ、キリストのDNAを継ぐ()であることを受け入れることである。

■ 本日の参考文献 / おすすめ図書

- ティモシー・ケラー『「放蕩」する神』(いのちのことば社)
 - ヘンリ・ナーウエン『愛されている者の生活』(あめんどう)
 - 豊田信行『イエスと共に過ごす安息日』(いのちのことば社)
 - 松島修『王様マインドと奴隷マインド』(サンマーク出版)
 - Walter Brueggemann, Sabbath as Resistance: Saying No to the Culture of Now (Westminster John Knox Press)
-